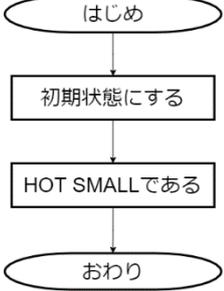
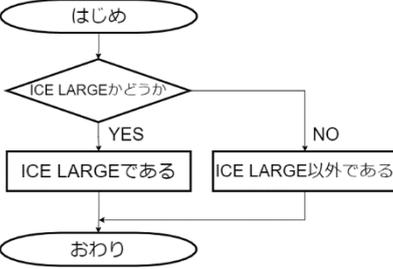
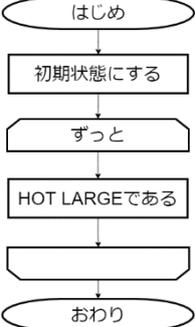


# アルゴリズムを図にして表そう

年 組 番 氏名 : \_\_\_\_\_

## 1. 基本のアルゴリズムを知ろう。

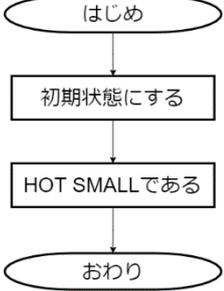
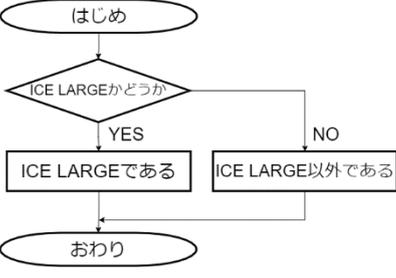
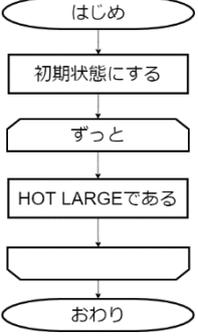
フローチャート例	 <pre>graph TD; A([はじめ]) --&gt; B[初期状態にする]; B --&gt; C[HOT SMALLである]; C --&gt; D([おわり]);</pre>	 <pre>graph TD; A([はじめ]) --&gt; B{ICE LARGEかどうか}; B -- YES --&gt; C[ICE LARGEである]; C --&gt; D([おわり]); B -- NO --&gt; E[ICE LARGE以外である]; E --&gt; D;</pre>	 <pre>graph TD; A([はじめ]) --&gt; B[初期状態にする]; B --&gt; C[/ずっと/]; C --&gt; D[HOT LARGEである]; D --&gt; E([おわり]);</pre>
----------	---	---	--

## 2. 前回考えたアルゴリズムをフローチャートにしてみよう。

# アルゴリズムを図にして表そう

年 組 番 氏名 : \_\_\_\_\_

## 1. 基本のアルゴリズムを知ろう。

	順次	分岐	反復
フローチャート例	 <pre> graph TD     Start([はじめ]) --&gt; Init[初期状態にする]     Init --&gt; Process[HOT SMALLである]     Process --&gt; End([おわり])                     </pre>	 <pre> graph TD     Start([はじめ]) --&gt; Decision{ICE LARGEかどうか}     Decision -- YES --&gt; Process1[ICE LARGEである]     Decision -- NO --&gt; Process2[ICE LARGE以外である]     Process1 --&gt; End([おわり])     Process2 --&gt; End([おわり])                     </pre>	 <pre> graph TD     Start([はじめ]) --&gt; Init[初期状態にする]     Init --&gt; Loop[/ずっと/]     Loop --&gt; Process[HOT LARGEである]     Process --&gt; End([おわり])                     </pre>

## 2. 前回考えたアルゴリズムをフローチャートにしてみよう。

- ・カップが置かれたかどうか判別する赤外線センサ (センサ①)
- ・アイスかホットかを判別する光センサ (センサ②)
- ・アイスコーヒーのカップの大きさを判別する赤外線センサ (センサ③)
- ・ホットコーヒーのカップの大きさを判別するセンサ (センサ④)

